

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公開番号】特開2008-204091(P2008-204091A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-38351(P2007-38351)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月18日(2009.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 識別対象を表す識別対象データに基づき、前記識別対象が第 1 カテゴリーに属する確率の大小を示す第 1 確率情報を取得する第 1 確率情報取得部と、

(B) 前記識別対象データに基づき、前記識別対象が第 2 カテゴリーに属する確率の大小を示す第 2 確率情報を取得する第 2 確率情報取得部であって、

前記第 1 確率情報で示される前記確率が、確率閾値で規定される範囲であって前記識別対象が前記第 1 カテゴリーに属すると確定し得る確率の範囲内の場合に、前記識別対象データについての前記第 2 確率情報の取得を行わない第 2 確率情報取得部と、  
を有するカテゴリー識別装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のカテゴリー識別装置であって、

前記第 1 確率情報取得部は、

前記識別対象データから取得される特徴量であって前記識別対象の特徴を示す特徴量に基づいて前記第 1 確率情報を取得し、

前記第 2 確率情報取得部は、

前記特徴量に基づいて前記第 2 確率情報を取得する、カテゴリー識別装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 に記載のカテゴリー識別装置であって、

前記第 1 確率情報と前記確率閾値とに基づき、前記第 1 確率情報で示される前記確率が、前記識別対象が前記第 1 カテゴリーに属すると確定し得る確率の範囲内の場合に、前記識別対象が前記第 1 カテゴリーに属すると判断する判断部を有し、

前記第 2 特徴量取得部は、

前記判断部にて前記識別対象が前記第 1 カテゴリーに属すると判断された場合に、前記識別対象データについての前記第 2 確率情報の取得を行わない、カテゴリー識別装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のカテゴリー識別装置であって、

前記第 1 確率情報取得部は、

前記第 1 カテゴリーについての識別学習がなされたサポートベクターマシンであって、前記識別対象が前記第 1 カテゴリーに属する確率に応じた数値を、前記第 1 確率情報と

して取得するサポートベクターマシンであり、

前記判断部は、

前記サポートベクターマシンで取得された数値と前記確率閾値とを比較する、カテゴリー識別装置。

【請求項 5】

請求項 2 から請求項 4 の何れかに記載のカテゴリー識別装置であって、

前記第 2 確率情報と前記確率閾値とに基づき、前記第 2 確率情報で示される前記確率が、前記識別対象が前記第 2 カテゴリーに属すると確定し得る確率の範囲内の場合に、前記識別対象が前記第 2 カテゴリーに属すると判断する他の判断部を有する、カテゴリー識別装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のカテゴリー識別装置であって、

前記第 2 確率情報取得部は、

前記第 2 カテゴリーについての識別学習がなされた他のサポートベクターマシンであって、前記識別対象が前記第 2 カテゴリーに属する確率に応じた数値を、前記第 2 確率情報として取得する他のサポートベクターマシンであり、

前記他の判断部は、

前記他のサポートベクターマシンで取得された数値と前記確率閾値とを比較する、カテゴリー識別装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】カテゴリー識別装置